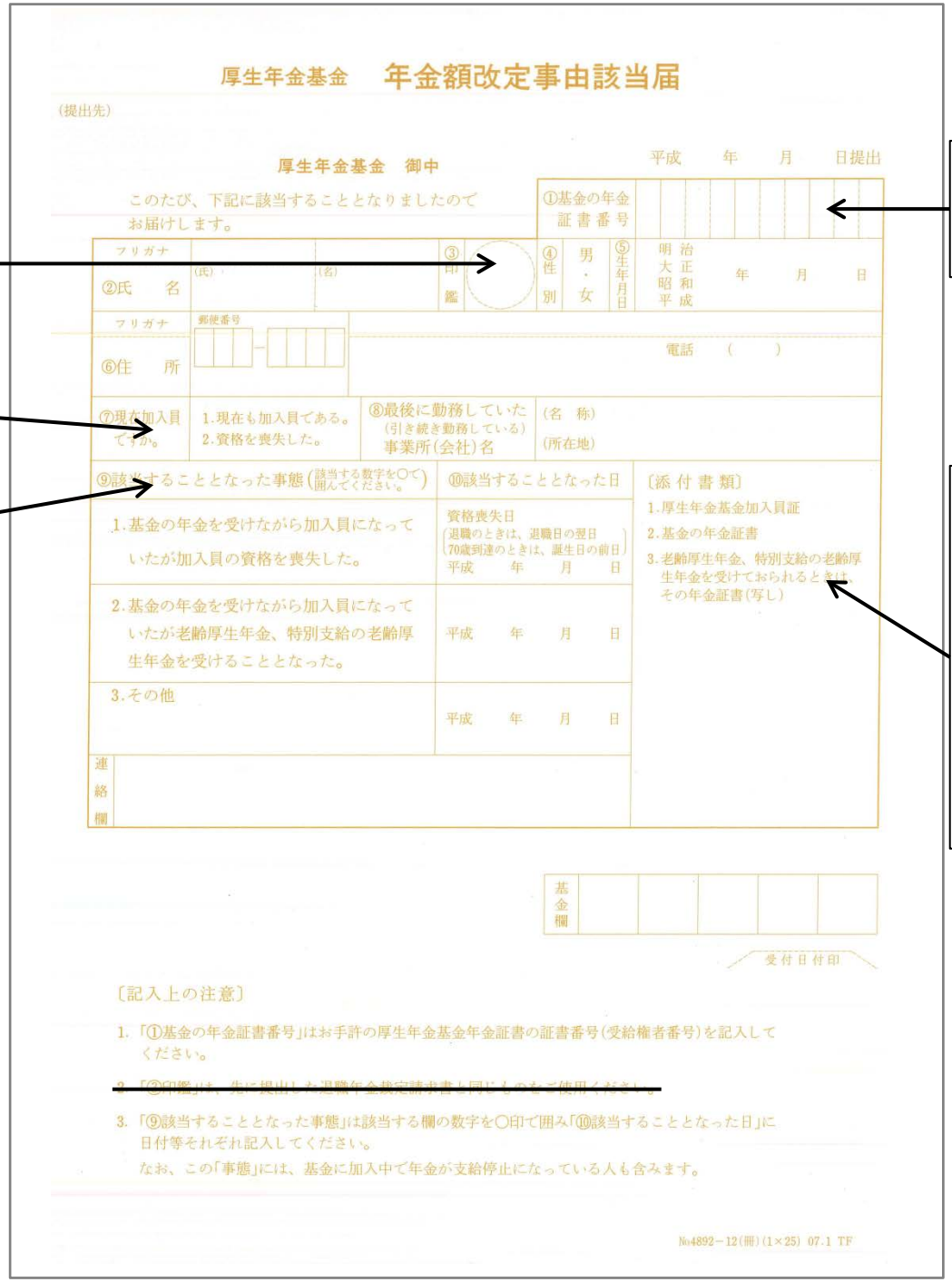
年金額改定事由該当届

＜印鑑＞
浸透印はお受けすることができません。
ご本人が自著した場合には、省略できます。

＜現在、加入員ですか＞
どちらかを○で囲ってください。

＜該当することとなった事態＞
該当する数字を○で囲ってください。



厚生年金基金　年金額改定事由該当届

（提出先）

厚生年金基金　御中

平成　年　月　日提出

このたび、下記に該当することとなりましたのでお届けします。

①基金の年金証書番号					
②氏名 フリガナ	（氏）	（名）	③印鑑	④性別 男・女	⑤生年月日 明治 大正 昭和 平成　年　月　日
⑥住所 フリガナ 郵便番号				電話　（　）	
⑦現在加入員ですか。	1.現在も加入員である。 2.資格を喪失した。	⑧最後に勤務していた（引き続き勤務している）事業所（会社）名	（名称） （所在地）		

⑨該当することとなった事態（該当する数字を○で囲んでください。）	⑩該当することとなった日
1.基金の年金を受けながら加入員になっていたが加入員の資格を喪失した。	資格喪失日（退職のときは、退職日の翌日 70歳到達のときは、誕生日の前日）平成　年　月　日
2.基金の年金を受けながら加入員になっていたが老齢厚生年金、特別支給の老齢厚生年金を受けることとなった。	平成　年　月　日
3.その他	平成　年　月　日
連絡欄	

〔添付書類〕
1.厚生年金基金加入員証
2.基金の年金証書
3.老齢厚生年金、特別支給の老齢厚生年金を受けておられるときはその年金証書（写し）

基金欄					

受付日付印

〔記入上の注意〕

1.「①基金の年金証書番号」はお手許の厚生年金基金年金証書の証書番号（受給権者番号）を記入してください。

2.「③印鑑」は、先に提出した退職年金裁定請求書と同じものをご使用ください。

3.「⑨該当することとなった事態」は該当する欄の数字を○印で囲み「⑩該当することとなった日」に日付等それぞれ記入してください。
なお、この「事態」には、基金に加入中で年金が支給停止になっている人も含みます。

№4892－12（冊）（1×25）07.1 TF

＜年金証書番号＞
年金証書の番号を右詰めでご記入ください。
前ゼロは省略できます。

＜添付書類＞
（この届出をご提出頂く全員の方）
1.厚生年金基金加入員証
2.基金の年金証書
は原本をご送付ください。
手続きが終わりましたらご返送申し上げます。
（事由1に該当する方）
3.老齢厚生年金、特別支給の老齢厚生年金の証書（写し）は不要です。